

| 幼保連携型認定こども園 養護【第1章第1-1(2)】 | 乳児期(三つの視点) 【第2章第1ねらい及び内容】 | 5 領域 | 満1歳～満3歳未満(5領域) 【第2章第2ねらい及び内容】 | 満3歳以上(5領域) 【第2章第3ねらい及び内容】 | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 10項目 【第1章第1-3(3)】 | 46細目 p.138 参照 | 育みたい資質・能力 【第1章第1-3(1)】 | 小学校以上の 資質・能力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|--|--|--|--|---|---|--|---|---|---|---|---|--|---|--|--|--|--|---|--|---|--|
| <p>・(生命の保持) 園児一人一人 が、快適にかつ 健康で安全に過 ごせるようにす るとともに、その生 理的欲求が十分 に満たされ、健康 増進が積極的に 図られるようにす る。</p> | <p>健康 身体的発達／健やかに 伸び伸びと育つ [健康な心と体を育て、自 ら健康で安全な生活をつ くり出す力の基盤を培 う。] ねらい (1)身体感覚が育ち、快 適な環境に心地よさを感じ る。 (2)伸び伸びと体を動か し、はう、歩くなどの運動 をしようとする。 (3)食事、睡眠等の生活 のリズムの感覚が芽生え る。【健康】</p> | <p>健康 [健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活 をつくり出す力を養う。] ねらい (1)明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動 かすことを楽しむ。 (2)自分の体を十分に動かし、様々な動きをし ようとする。 (3)健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、 自分でしてみようとする気持ちが育つ。</p> | <p>健康 [健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活 をつくり出す力を養う。] ねらい (1)明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 (2)自分の体を十分に動かし、進んで運動しよ うとする。 (3)健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身 に付け、見通しをもって行動する。</p> | <p>ア 健康な心と体 【健康】 幼保連携型認定こども園における生活の中で、充 実感をもって自分のやりたいことに向かって心と 体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら 健康で安全な生活をつくり出すようになる。</p> | <p>8 項</p> | <p>個 別 の 「 知 識 及 び 技 能 の 基 礎 」</p> | <p>豊かな体験を通じて、 感じたり、気付いた り、分かったり、でき るようになったりする「知 識及び技能の基礎」</p> | <p>何を理解しているか、何 ができるか(生きて働く 「知識・技能」の習得)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | <p>人間関係 社会的発達／身近な人 と気持ちが通じ合う [受容的・応答的関わり の下で、何かを伝えよう とする意欲や身近な大人 との信頼関係を育て、人 と関わる力の基盤を培 う。] ねらい (1)安心できる関係の 下で、身近な人と共に過 す喜びを感じる。 (2)体の動きや表情、発 声等により、保育教諭等 と気持ちを通わせよう とする。 (3)身近な人と親しみ、 関わりを深め、愛情や信 頼感が芽生える。【人間 関係】【言葉】</p> | <p>人間関係 [他の人々と親しみ、支え合って生活するた めに、自立心を育て、人と関わる力を養う。] ねらい (1)幼保連携型認定こども園での生活を楽 しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 (2)周囲の園児等への興味・関心が高まり、関 わりをもとうとする。 (3)幼保連携型認定こども園の生活の仕方に 慣れ、きまりの大切さに気付く。</p> | <p>人間関係 [他の人々と親しみ、支え合って生活するた めに、自立心を育て、人と関わる力を養う。] ねらい (1)幼保連携型認定こども園の生活を楽 しみ、自分の力で行動することの充実感を味わ う。 (2)身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫し たり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味 い、愛情や信頼感をもつ。 (3)社会生活における望ましい習慣や態度を身 に付ける。</p> | <p>イ 自立心 【人間関係】 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽し む中で、しなければならないことを自覚し、自分 の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦 めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を もって行動するようになる。</p> | <p>4 項</p> | <p>友 達 と 関 わ る 中 で、互 い の 思 い や 考 え な ど を 共 有 し、共 通 の 目 的 的 実 現 に 向 け て、考 え た り、工 夫 し た り、協 力 し た り、充 実 感 を も っ て や り 遂 げ る よ う に な る。</p> | <p>4 項</p> | <p>友 達 と 関 わ る 中 で、互 い の 思 い や 考 え な ど を 共 有 し、共 通 の 目 的 的 実 現 に 向 け て、考 え た り、工 夫 し た り、協 力 し た り、充 実 感 を も っ て や り 遂 げ る よ う に な る。</p> | <p>理 解 し て い る こ と・で き る こ と を ど う 使 う か(未 知 の 状 況 に も 対 応 で き る「思 考 力・判 断 力・表 現 力 等」 の育 成)</p> | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | <p>環境 [周囲の様々な環境に好奇心や探究心をも って関わり、それらを生活に取り入れてい こうとする力を養う。] ねらい (1)身近な環境に親しみ、触れ合う中 で、様々なものに興味や関心をもつ。 (2)様々なものに関わる中で、発見を 楽しんだり、考えたりしようとする。 (3)見る、聞く、触るなどの経験を通 して、感覚の働きを豊かにする。</p> | <p>環境 [周囲の様々な環境に好奇心や探究心をも って関わり、それらを生活に取り入れてい こうとする力を養う。] ねらい (1)身近な環境に親しみ、自然と触れ 合う中で様々な事象に興味や関心をも つ。 (2)身近な環境に自分から関わり、発 見を楽しんだり、考えたりし、それを 生活に取り入れようとする。 (3)身近な事象を見たり、考えたり、扱 ったりする中で、物の性質や数量、文 字などに対する感覚を豊かにする。</p> | <p>環境 [周囲の様々な環境に好奇心や探究心をも って関わり、それらを生活に取り入れてい こうとする力を養う。] ねらい (1)身近な環境に親しみ、自然と触れ 合う中で様々な事象に興味や関心をも つ。 (2)身近な環境に自分から関わり、発 見を楽しんだり、考えたりし、それを 生活に取り入れようとする。 (3)身近な事象を見たり、考えたり、扱 ったりする中で、物の性質や数量、文 字などに対する感覚を豊かにする。</p> | <p>ウ 協同性 【人間関係】 友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有 し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫し たり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるよ うになる。</p> | <p>4 項</p> | <p>友 達 と 関 わ る 中 で、互 い の 思 い や 考 え な ど を 共 有 し、共 通 の 目 的 的 実 現 に 向 け て、考 え た り、工 夫 し た り、協 力 し た り、充 実 感 を も っ て や り 遂 げ る よ う に な る。</p> | <p>4 項</p> | <p>友 達 と 関 わ る 中 で、互 い の 思 い や 考 え な ど を 共 有 し、共 通 の 目 的 的 実 現 に 向 け て、考 え た り、工 夫 し た り、協 力 し た り、充 実 感 を も っ て や り 遂 げ る よ う に な る。</p> | <p>理 解 し て い る こ と・で き る こ と を ど う 使 う か(未 知 の 状 況 に も 対 応 で き る「思 考 力・判 断 力・表 現 力 等」 の育 成)</p> |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>表現 [感じたことや考えたことを自分 なりに表現することを通 して、豊かな感性や表 現する力を養い、創造 性を豊かにする。] ねらい (1)身の回りのものに 親しみ、様々なもの に興味や関心をもつ。 (2)見る、触れる、探 索するなど、身近な 環境に自分から関 わりをしようとする。 (3)身体 の諸感 覚によ る認 識が 豊か にな り、表 情 や手 足、 体 の 動 き 等 で表 現す る。【環境】【表現】</p> | <p>表現 [感じたことや考えたことを自分 なりに表現することを通 して、豊かな感性や表 現する力を養い、創造 性を豊かにする。] ねらい (1)いろいろなもの の美しさなどに対する 豊かな感性をもつ。 (2)感じたことや考 えたことを自分なりに 表現して楽しむ。 (3)生活の中でイメ ージを豊かにし、様 々な表現を楽しむ。</p> | <p>表現 [感じたことや考えたことを自分 なりに表現することを通 して、豊かな感性や表 現する力を養い、創造 性を豊かにする。] ねらい (1)いろいろなもの の美しさなどに対する 豊かな感性をもつ。 (2)感じたことや考 えたことを自分なりに 表現して楽しむ。 (3)生活の中でイメ ージを豊かにし、様 々な表現を楽しむ。</p> | <p>オ 社会生活との 関わり 【人間関係】 家族を大切にしよう とする気持ちをもつ とともに、地域の身 近な人と触れ合う中 で、人との様々な関 わり方に気付き、相 手の気持ちを考 えて関わり、自分が 役に立つ喜びを感じ、 地域に親しみをもつ ようになる。また、 幼保連携型認定こ ども園内外の様々な 環境に関わる中で、 遊びや生活に必要な 情報を取り入れ、情 報に基づき判断し たり、情報を役立 てながら活動するよ うになるとともに、 公共の施設を大切 に利用するなどして、 社会とのつながり などを意識するよ うになる。</p> | <p>6 項</p> | <p>家 族 を 大 切 に し よ う と す る 気 持 ち を も つ と も に、地 域 の 身 近 な 人 と 触 れ 合 う 中 で、人 と の 様 々 な 関 わ り 方 に 気 付 き、相 手 の 気 持 ち を 考 え て 関 わ り、自 分 が 役 に 立 つ 喜 び を 感 じ、地 域 に 親 し み を も つ よ う に な る。ま た、幼 保 連 携 型 認 定 こ ど も 園 内 外 の 様 々 な 環 境 に 関 わ る 中 で、遊 び や 生 活 に 必 要 な 情 報 を 取 り 入 れ、情 報 に 基 づ き 判 断 し た り、情 報 を 役 立 て な が ら 活 動 す る よ う に な ると も に、公 共 の 施 設 を 大 切 に 利 用 す る な ど し て、社 会 と の つ な が り な ど を 意 識 す る よ う に な る。</p> | <p>6 項</p> | <p>家 族 を 大 切 に し よ う と す る 気 持 ち を も つ と も に、地 域 の 身 近 な 人 と 触 れ 合 う 中 で、人 と の 様 々 な 関 わ り 方 に 気 付 き、相 手 の 気 持 ち を 考 え て 関 わ り、自 分 が 役 に 立 つ 喜 び を 感 じ、地 域 に 親 し み を も つ よ う に な る。ま た、幼 保 連 携 型 認 定 こ ど も 園 内 外 の 様 々 な 環 境 に 関 わ る 中 で、遊 び や 生 活 に 必 要 な 情 報 を 取 り 入 れ、情 報 に 基 づ き 判 断 し た り、情 報 を 役 立 て な が ら 活 動 す る よ う に な ると も に、公 共 の 施 設 を 大 切 に 利 用 す る な ど し て、社 会 と の つ な が り な ど を 意 識 す る よ う に な る。</p> | <p>理 解 し て い る こ と・で き る こ と を ど う 使 う か(未 知 の 状 況 に も 対 応 で き る「思 考 力・判 断 力・表 現 力 等」 の育 成)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> | <p>心 情 ・ 意 欲 ・ 態 度 が 育 つ 中 で、よ りよ い生 活を 営もう とする 「学 びに 向か う力 ・人 間性 等」</p> |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | <p>学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等</p> | | | | | | | | | |

ねらいは教育及び保育において育みたい資質・能力を園児の生活する姿から捉えたもの／内容は、ねらいを達成するために指導する事項／各視点や領域は、この時期の発達の特徴を踏まえ、教育及び保育のねらい及び内容を乳幼児の発達の側面から、乳児は三つの視点として、幼児は五つの領域としてまとめ、示したもの／内容の取扱い、園児の発達を踏まえた指導を行うに当たって留意すべき事項／各視点や領域に示すねらいは、こども園における生活の全体を通じ、園児が様々な体験を積み重ねる中で相互に関連をもちながら次第に達成に向かうもの／内容は、園児が環境と関わりながら展開する具体的な活動を通して総合的に指導されるものであることに留意／「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、ねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている園児のこども園修了時の具体的な姿であることを踏まえ、指導を行う際に考慮する